

2022年10月13日

株式会社 電通グループ

代表取締役社長執行役員 CEO 五十嵐 博

(東証プライム市場 証券コード：4324)

電通グループ、世界各国のゲームプレイヤーのインサイトを分析した ビジネスレポート「Dentsu：For The Game」を作成・公開

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下、「当社」）は、昨年提供を開始したゲーム領域におけるグローバル共通のソリューション「dentsu gaming（電通ゲーミング）^{※1}」の一環として、世界各国のゲームプレイヤーのインサイトを分析したビジネスレポート「Dentsu：For The Game」（英語版のみ）を作成・公開しました。

世界のゲーム市場は年々拡大し、2025年にはゲームプレイヤー数は世界で35億人、年間2,250億米ドル（約32兆円）以上の市場規模^{※2}になることが予想されています。企業にとって、市場動向・プレイヤーのインサイト把握は、事業成長の可能性拡大に繋がることから、当社は、70カ国・40万人以上の消費者をカバーするdentsu Consumer Connection System^{※3}の調査データと、世界有数の市場調査会社Global Web Index^{※4}が提供する世界21の市場のゲーム専門データを融合させ、43ページにわたるビジネスレポートとして取りまとめました。

本レポートは次の2部構成となっており、ゲーム領域における潜在的な事業機会に関する概要を定義した上で、ゲームプレイヤーをその目的から6つに類型化^{※5}（WIN、HYPE、IMMERSION、PARTY、DOWNTIME、REVIVE）し、企業がその目標に応じてターゲティングする際の効果的な手法も紹介しています。

1. ゲームカルチャーの動向

- ゲーム行動やゲームコミュニティの普及や多様性の分析
- それらがダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（DE&I）にとって持つ意味の明確化
- ゲームカルチャーと広範なグローバルカルチャーの相互影響の分析

2. 企業のゲーム経済との関わり方

- ゲーム体験価値向上の重要性の定義
- インゲーム内広告やスポンサーシップから、IP開発やゲーム化したコマース体験まで、多様なビジネスを包含するゲーム経済における最も効果的な企業の関わり方の提示

「Dentsu：For the Game」参照先（dentsu gaming サイト内）

URL（英語のみ）：https://www.dentsu.com/reports/dentsu_gaming_for_the_game

今後も当社は、dentsu gamingを通じてIP開発、eスポーツ、XR技術の活用、ゲーミフィケーション、インゲーム広告など、幅広い企業ニーズに対応するとともに、ゲーム市場のさらなる成長に貢献することを目指します。

※1：「dentsu gaming」提供開始のリリースは以下の URL よりご覧ください。

<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/000567.html>

※2：出典 Global Games Market Report（発行元：Newzoo）（英語のみ）

※3：dentsu Consumer Connection System は、70 カ国・40 万人以上をカバーする世界規模のパネル調査で、消費者の興味、価値観、動機、ニーズ等について把握することができます。

※4：Global Web Index は、市場調査における世界のリーディングカンパニーです。当社は本レポートの作成にあたり、ゲームプレイヤーの行動変化等の詳細分析に同社のデータを活用しました。

※5：6つの類型

- ① WIN（スキル向上し、勝利し、賞賛されることを目的とする。）
- ② HYPE（競争を楽しみ、オンラインでのソーシャルな関係や友人との繋がりを目的とする。）
- ③ IMMERSION（別世界へ没頭し、現実とは異なる、ヒーロー的なアイデンティティの獲得を目的とする。）
- ④ PARTY（ゲームを通して、友人や家族との繋がりを持つことを目的とする。）
- ⑤ DOWNTIME（人との繋がりを断絶した世界で、休息を目的とする。）
- ⑥ REVIVE（趣味およびリラックスの方法として、日々の生活のエネルギーを得ることを目的とする。）

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、杉浦

Email：group-cc@dentsu-group.com

株式会社電通グループでは、新型コロナウイルス対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。